

TOEIC® Speaking & Writing Institutional Program (IP) online Test Result

Institution Code (団体コード)	999000	SPEAKING	
Institution (団体名)	アイ・アイ・ピー・シー	130	
Test date (テスト実施日)	2022/6/6		
Group code (所属コード)	1234	WRITING	
Registration number (受験番号)	123456	110	
Name (氏名)	KOKUSAI HANAKO		
Date of birth (生年月日)	1995/5/1		

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会
東京都千代田区永田町2-14-2 山王ビル



SPEAKING

スコアレンジ: 130~150

一般的にスコアが130～150のレンジ内に該当する受験者は、意見を述べたり、複雑な要求に対して、適切に応えることができる。しかしながら、少なくとも部分的に意見の根拠や説明が聞き手にとって不明瞭なことがある。

これには、以下の理由が考えられる。

- ・ 話さなければならない時、発音がはっきりしない、またはイントネーションや強調すべき部分が不適切である
- ・ 文法に誤りがある
- ・ 使用できる語彙・語句の範囲が限られている

また、ほとんどの場合、質問に回答し、基本的な情報を提供することができる。

しかしながら、しばしば内容は理解しにくい。

書かれたものを読み上げる際の英語はわかりやすい。

PRONUNCIATION:

HIGH

英文を音読する際、発音はとてもわかりやすい。

INTONATION and STRESS:

HIGH

英文を音読する際、イントネーションとアクセントが、とても効果的である。

WRITING

スコアレンジ: 110~130

一般的にスコアが110～130のレンジ内に該当する受験者は、簡単な情報を提供し、理由や例をあげて、または説明をして意見を裏付けることは部分的にはできる。

簡単な情報を提供する、質問する、指示を与える、または要求するときは、重要な情報を書き忘れることがある、または文章にわかりにくい部分がある。

意見について説明しようとするときは、その意見と関連のある考えやある程度の裏付けを提示することができる。

一般的弱点には、以下のようなものがある。

- ・ 要点の具体的な裏付けや展開が不十分である
- ・ 述べられている様々な要点同士の関連が不明確である
- ・ 文法的な誤りがある、または語彙・語句の選択が不正確である

TOEIC® Speaking & Writing Institutional Program (IP) online Test Resultに関するご案内

TOEIC® Speaking & Writing Institutional Program (IP) online Test Resultは、団体特別受験制度（IP：Institutional Program、以下IP）のうちインターネット環境があれば、所属団体／自宅等で受験可能な〔IP online〕によるテスト結果です。

受験制度に関する詳しい内容は「TOEIC® Speaking & Writing Tests 受験制度に関するご案内」をご確認ください。

TOEIC® Speaking & Writing Tests 受験制度に関するご案内

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会（以下、当協会）ではTOEIC® Speaking & Writing Testsを下記の2種類でご提供しております。

- 公開テスト
当協会が指定する日時・場所において、当協会が主催するものです。
毎回新たにEducational Testing Service (ETS) が制作したテスト問題が使用されます。
テスト結果は、ETSと当協会によって認定され、受験者の顔写真の印刷されたOfficial Score Certificate（公式認定証）が受験者本人宛に発行されます。
- 団体特別受験制度（IP：Institutional Program、以下IP）
IPには、①企業・団体・学校が独自に設定した日時・場所において、実施団体の管理の下で行われる形式〔IP〕と②インターネット環境があれば、所属団体／自宅等でも受験可能な形式〔IP online〕の2種類があります。テスト問題は、公開テストで過去に使用した問題を一定期間あけて再利用します。
①の形式を受験した場合は、テスト結果としてスコアレポートが発行され、②の形式を受験した場合は、専用サイトにてテスト結果が表示されます。
なお、公開テストとIPのテスト結果（スコア）の意味は同じです。

TOEIC® Speaking & Writing Testsは米国の非営利テスト開発機関であるETSにより制作されています。日本におけるTOEIC® Speaking & Writing Testsの実施・運営は当協会が行っています。

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会
IIBC 公式サイト <https://www.iibc-global.org>

2022.6

Score Range Descriptors (スコアレンジ別評価一覧表)

TOEIC® Speaking Test		TOEIC® Writing Test	
スコアレンジ 190～200	一般的にスコアが190～200のレンジ内に該当する受験者は、一般の職場にふさわしい継続的な会話ができる。意見を述べたり、複雑な要求に応えたりする際の話の内容は大変わかりやすい。基本的な文法は、複雑な文法もうまく使い、正確で的確な語彙・語句を使用している。また、質問に回答し、基本的な情報を提供することができる。 発音、イントネーション、強調すべき部分がいずれも大変わかりやすい。	スコアレンジ 200	一般的にスコアが200に該当する受験者は、簡単な情報を的確に伝達することができ、理由や例をあげて、または説明をして、意見を裏付けすることができる。簡単な情報を提供する、質問する、指示を与える、または要求するときは、明確で、一貫性のある、的確な文章を書くことができる。理由や例をあげたり、または説明をして意見を裏付けるなどして、よくまとまった、十分に展開された文章を書くことができる。さまざまな構文や適切な語彙・語句を使い、自然な英語を書くことができる。文法も正確である。
スコアレンジ 160～180	一般的にスコアが160～180のレンジ内に該当する受験者は、一般の職場にふさわしい継続的な会話ができる。的確に意見を述べたり、複雑な要求に応えることができる。長い応答では、以下の弱点が一部現れることがあるが、意思の伝達を妨げるものではない。 ・発音、イントネーションにわずかなだが問題があり、話すとき、躊躇することがある ・複雑な文法構造を使うときにいくつか誤りがみられることがある ・不正確な語彙・語句の使用がいくつかみられることがある また、質問に回答し、基本的な情報を提供することができる。書かれたものを読み上げる際の英語は大変わかりやすい。	スコアレンジ 170～190	一般的にスコアが170～190のレンジ内に該当する受験者は、簡単な情報を的確に伝達することができ、理由や例をあげて、または説明をして、意見を裏付けすることができる。簡単な情報を提供する、質問する、指示を与える、または要求するときは、明確で、一貫性のある、的確な文章を書くことができる。さらに、理由や例をあげて、または説明をして、意見を裏付けるときは、概ね上手な文章を書くことができる。概ねよくまとまった文章で、さまざまな構文や適切な語彙・語句を使用している。ただし、以下の弱点の1つがみられることがある。 ・時折、同じ考えを不必要に繰り返す、または述べられている様々な考え同士の関連が不明確である ・文法上の小さな誤りがある、または語彙・語句の選択が不正確である
スコアレンジ 130～150	一般的にスコアが130～150のレンジ内に該当する受験者は、意見を述べたり、複雑な要求に対して、適切に応えることができる。しかしながら、少なくとも部分的に意見の模範や説明が聞き手にとって不明瞭なことがある。これには、以下の理由が考えられる。 ・話さなければならない時、発音ははっきりしない、またはイントネーションや強調すべき部分の不適切である ・文法に誤りがある ・使用できる語彙・語句の範囲が限られている また、ほとんどの場合、質問に回答し、基本的な情報を提供することができる。しかしながら、しばしば内容は理解しにくい。書かれたものを読み上げる際の英語はわかりやすい。	スコアレンジ 140～160	一般的にスコアが140～160のレンジ内に該当する受験者は、簡単な情報を提供する、質問をする、指示を与える、または要求することが的確にできるが、理由や例をあげて、または説明をして、意見を裏付けすることは部分的にしかできない。簡単な情報を提供する、質問する、指示を与える、または要求するときは、明確で、一貫性のある、的確な文章を書くことができる。意見について説明しようとするときは、その意見と関連のある考えやある程度の裏付けを提示することができる。一般的な弱点には、以下のようなものがある。 ・要点の具体的な裏付けや展開が不十分である ・述べられている様々な要点同士の関連が不明確である ・文法的な誤りがある、または語彙・語句の選択が不正確である
スコアレンジ 110～120	一般的にスコアが110～120のレンジ内に該当する受験者は、ある程度、意見を述べ、または複雑な要求に応えることができる。ただし、応答には以下のような問題がみられる。 ・言葉が不正確、あいまい、または同じ言葉を繰り返し述べている ・聞き手の立場や状況をほとんど、またはまったく意識していない ・間が長く、躊躇することが多い ・考えを表現すること、またいくつかの考えを関連づけて表現することに限界がある ・使用できる語彙・語句の範囲が限られている また、ほとんどの場合、質問に回答し、基本的な情報を提供することができる。しかしながら、しばしば内容は理解しにくい。書かれたものを読み上げる際の英語は概ねわかりやすいが、自らが考えて話をするときは、発音、イントネーション、強調すべき部分に時々誤りがある。	スコアレンジ 110～130	一般的にスコアが110～130のレンジ内に該当する受験者は、簡単な情報を提供し、理由や例をあげて、または説明をして意見を裏付けることは部分的にはできる。簡単な情報を提供する、質問する、指示を与える、または要求するときは、重要な情報を書き忘れることがある。または文章にわかりにくい部分がある。 意見について説明しようとするときは、その意見と関連のある考えやある程度の裏付けを提示することができる。 一般的弱点には、以下のようなものがある。 ・要点の具体的な裏付けや展開が不十分である ・述べられている様々な要点同士の関連が不明確である ・文法的な誤りがある、または語彙・語句の選択が不正確である
スコアレンジ 80～100	一般的にスコアが80～100のレンジ内に該当する受験者は、意見を述べ、または複雑な要求に応えようとするが、うまくいかない。1つの文のみ、または文の一部分のみで応答することができる。このほかに、以下のような問題がみられる。 ・回答がとても短い、または全くもほとんど部分の理解しにくい ・聞き手の立場や状況をほとんど、またはまったく意識していない ・発音、イントネーション、強調すべき部分に常に問題がある ・間が長く、躊躇することが多い ・語彙・語句が非常に限られている また、ほとんどの場合、質問に答えることも、基本的な情報を提供することもできない。書かれたものを読み上げる際の英語はわかりやすい場合もあるが、わかりにくい場合もある。自らが考えて話をするときは、発音、イントネーション、強調すべき部分に問題が多い。 「PRONUNCIATION」、 「INTONATION and STRESS」の評価内容もご確認ください。	スコアレンジ 90～100	一般的にスコアが90～100のレンジ内に該当する受験者は、簡単な情報を提供することは部分的にはできるが、理由や例をあげて、または説明をして意見を裏付けすることはほとんど不可能、できない。簡単な情報を提供する、質問する、指示を与える、または要求するときは、重要な情報を書き忘れることがある。または文章にわかりにくい部分がある。 意見について説明しようとするときは、コミュニケーションの障害となる以下のような重大な弱点がみられる。 ・意見を裏付ける例、説明、詳細が不十分である、または不適切である ・考えを述べる構成がよくない、または考え同士の関連が不十分である ・考えが十分に展開されていない ・重大な文法的誤りがある、または語彙・語句の選択が不正確である
スコアレンジ 60～70	一般的にスコアが60～70のレンジ内に該当する受験者は、若干の支障はあるものの簡単なことは答える。ただし、その意見の裏付けを述べることができない。複雑な要求に対する応答は、非常に限られている。 また、ほとんどの場合、質問に答えることも、基本的な情報を提供することもできない。語彙・語句または文法が不十分なため、簡単な描写をするすることもできない。 書かれたものを読み上げる際の英語は理解しにくいことがある。 「PRONUNCIATION」、 「INTONATION and STRESS」の評価内容もご確認ください。	スコアレンジ 70～80	一般的にスコアが70～80のレンジ内に該当する受験者は、意見を述べ、簡単な情報を提供する能力の発展段階にあり、コミュニケーションができることは限られている。簡単な情報を提供する、質問する、指示を与える、または要求するときは、以下の理由で、課題を完全に達成することができない。 ・情報が欠けている ・文章と文章のつながりが欠けている、またはあいまいである あるいは（そして） ・文法的誤りが多い、または語彙・語句の選択が不正確である 意見について説明しようとするときは、コミュニケーションの障害となる以下のような重大な弱点がみられる。 ・意見を裏付ける例、説明、詳細が不十分である、または不適切である ・考えを述べる構成がよくない、または考え同士の関連が不十分である ・考えが十分に展開されていない ・重大な文法的誤りがある、または語彙・語句の選択が不正確である このレンジ内に該当する受験者は、文法的に正確な文章を作成するのに必要なある程度の能力を有しているが、一貫性に欠ける。
スコアレンジ 40～50	一般的にスコアが40～50のレンジ内に該当する受験者は、意見を述べ、簡単な情報を提供する能力がかなり限られている。特有の弱点には、以下が含まれる。 ・重要な情報がまったく含まれていない ・記述された事柄同士につながりがなく、またはあいまいである ・文法的誤りが頻発する、または語彙・語句の選択が不正確である 意見を説明しようとするとき、以下の重大な欠陥が1つもしくは複数以上みられる。 ・無秩序な構成と不十分な展開 ・詳細情報の欠落、または関連の欠如 ・文法的誤りの頻発、または不正確な語彙・語句の選択 このスコアに該当する受験者は、文法的に正確な文章を作成することができない。	スコアレンジ 50～60	一般的にスコアが50～60のレンジ内に該当する受験者は、意見を述べ、簡単な情報を提供する能力が限られている。簡単な情報を提供する、質問する、指示を与える、または要求するときは、以下の理由で、課題を完全に達成することができない。 ・情報が欠けている ・文章と文章のつながりが欠けている、またはあいまいである あるいは（そして） ・文法的誤りが多い、または語彙・語句の選択が不正確である 意見を説明しようとするとき、以下の重大な欠陥が1つもしくは複数以上みられる。 ・詳細情報の欠落、または関連の欠如 ・文法的誤りの頻発、または不正確な語彙・語句の選択 このレンジ内に該当する受験者は、文法的に正確な文章を作成するのに必要なある程度の能力を有しているが、一貫性に欠ける。
スコアレンジ 0～30	一般的にスコアが40～50のレンジ内に該当する受験者は、意見を述べ、簡単な情報を提供する能力がかなり限られている。特有の弱点には、以下が含まれる。 ・重要な情報がまったく含まれていない ・記述された事柄同士につながりがなく、またはあいまいである ・文法的誤りが頻発する、または語彙・語句の選択が不正確である 意見を説明しようとするとき、以下の重大な欠陥が1つもしくは複数以上みられる。 ・無秩序な構成と不十分な展開 ・詳細情報の欠落、または関連の欠如 ・文法的誤りの頻発、または不正確な語彙・語句の選択 このスコアに該当する受験者は、文法的に正確な文章を作成することができない。	スコアレンジ 40	一般的にスコアが40に該当する受験者は、意見を述べ、簡単な情報を提供する能力がかなり限られている。特有の弱点には、以下が含まれる。 ・重要な情報がまったく含まれていない ・記述された事柄同士につながりがなく、またはあいまいである ・文法的誤りが頻発する、または語彙・語句の選択が不正確である 意見を説明しようとするとき、以下の重大な欠陥が1つもしくは複数以上みられる。 ・無秩序な構成と不十分な展開 ・詳細情報の欠落、または関連の欠如 ・文法的誤りの頻発、または不正確な語彙・語句の選択 このスコアに該当する受験者は、文法的に正確な文章を作成することができない。
スコアレンジ 0～30	一般的にスコアが0～30のレンジ内に該当する受験者は、スピーキングのかなりの部分に回答していない。テストのディレクションや設問の内容を理解するのに必要な英語のリスニング、またはリーディング能力に欠ける。	スコアレンジ 0～30	一般的にスコアが0～30のレンジ内に該当する受験者は、ライティングのかなりの部分に回答していない。テストのディレクションや設問の内容を理解するのに必要な英語のリーディング能力に欠ける。

Pronunciation		Intonation and Stress	
HIGH	英文を音読する際、発音はとてわかりやすい。	HIGH	英文を音読する際、イントネーションとアクセントが、とても効果的である。
MEDIUM	英文を音読する際、発音は全体的にわかりやすいが、些細なミスがある。	MEDIUM	英文を音読する際、イントネーションとアクセントが、ほとんどの場合効果的である。
LOW	英文を音読する際、発音は全体的にわかりにくい。	LOW	英文を音読する際、イントネーションとアクセントが、ほとんどの場合効果的ではない。

TOEIC® Speaking & Writing Tests



Contents

I 全国データ

全国受験者のスコアデータです。ご自身のスコアと比較することで英語力の現在地の確認等にお役立てください。

II Can Doガイド

スコア帯別の「できる (Can Do) こと」の一覧です。ご自身のスコアから推定される具体的な「できる (Can Do) こと」の把握等にお役立てください。

III その他 関連情報

その他のTOEIC® Programに関連する情報です。

I 全国データ

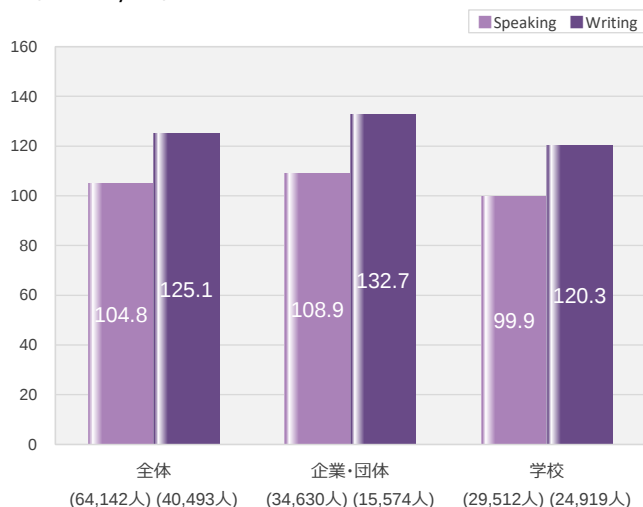
ご自身のスコアと比較することで英語力の現在地の確認等にお役立てください

TOEIC® Speaking & Writing Tests (以下、TOEIC S&W) に関する全国受験者のスコアデータです。

【2019～2021年度 (2019年4月～2022年3月)】の3年度分のデータに基づいて作成しています。

IPテスト 全体データ

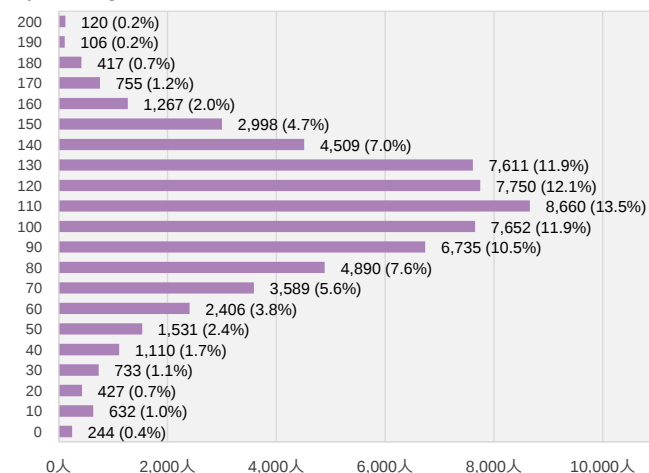
企業・団体/学校別受験者数と平均スコア



スコア分布 (全体)

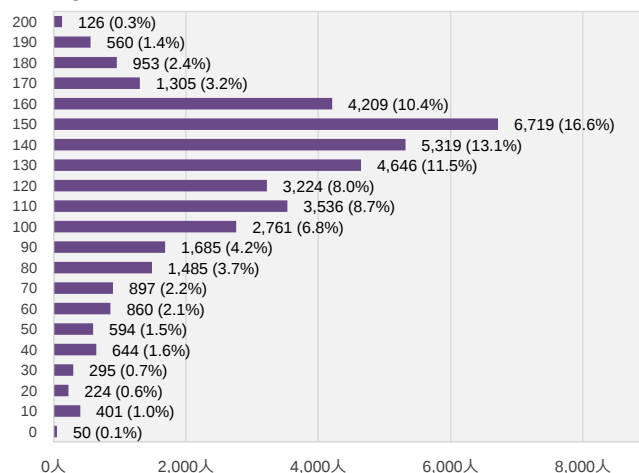
Speakingスコア

64,142 人



Writingスコア

40,493 人



IPテスト 学校データ

中学校・高校・高専・短大・大学・大学院・専門学校などの教育機関で実施されたIPテストデータ

Speaking Writing

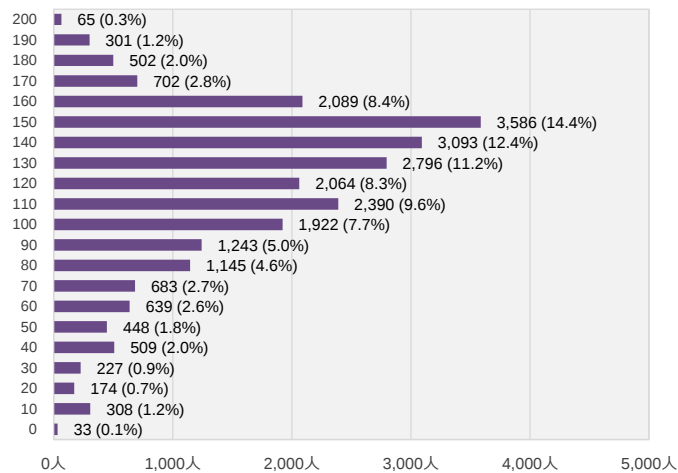
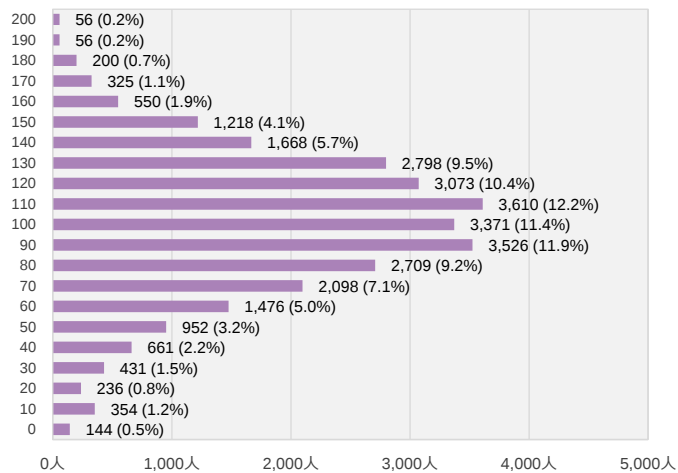
スコア分布（学校）

Speakingスコア

29,512 人

Writingスコア

24,919 人

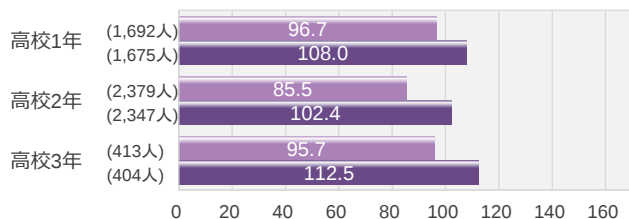


所属学校・学年別受験者数と平均スコア

教育機関内で実施されたIPテスト受験者のうち、「学歴・学校（所属学校・学年）」に回答されたデータを集計

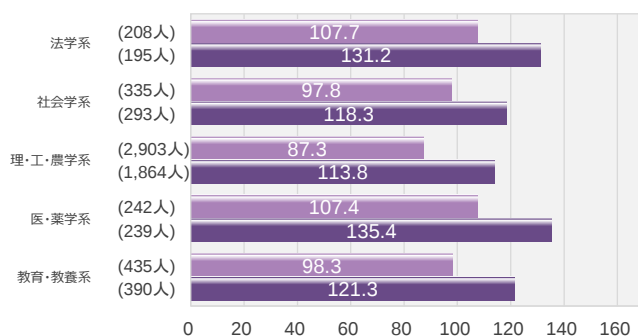
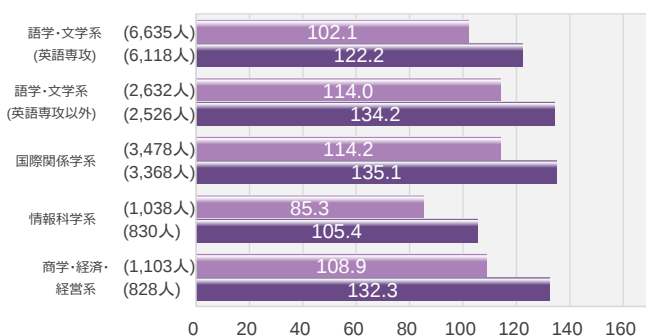
高校 Speaking 平均スコア **90.7** 点 **4,484** 人
Writing 平均スコア **105.4** 点 **4,426** 人

大学 Speaking 平均スコア **101.1** 点 **19,470** 人
Writing 平均スコア **123.5** 点 **17,279** 人



大学専攻別受験者数と平均スコア

大学内で実施されたIPテスト受験者のうち、「学校・学歴」・「専攻」に回答されたデータを集計



II Can Doガイド

ご自身のスコアから推定される具体的な「できる (Can Do) こと」の把握等にお役立てください

本Can Doガイドは、TOEIC S&Wの受験者を対象に行った、英語を使ってできることに関するアンケート調査の結果をまとめたものです。

ご自身が該当するスコアレンジにおける●がついた項目が、英語を使って「できる (Can Do) こと」の目安になります。

なお、本Can Doガイドでは、スコア帯別の●「**できる (Can Do)**」項目に加えて、▲「**困難を伴うができる (Can Do with Difficulty)**」項目や

今後の学習課題となる■「**できない (Cannot Do)**」項目についてもご確認いただくことができます。

各項目の内容は一般的な場面やビジネスの場面を想定しています。ご自身の現在・将来の状況等をイメージしながらご活用ください。

TOEIC Speaking Can Doガイド

スコアレンジとCan Do項目 ●「できる (Can Do)」 ▲「困難を伴うができる (Can Do with Difficulty)」 ■「できない (Cannot Do)」	Speakingスコアレンジ						
	～50	60～70	80～100	110～120	130～150	160～180	190～200
ビジネスの交渉や、表敬訪問等の様々な場面で、役員レベルの人達の通訳を務めることができる	■	■	■	■	▲	▲	▲
講演やプレゼンテーション等、フォーマルな場面で通訳することができる	■	■	■	■	▲	▲	●
少人数の歓送迎会で、事前準備なしに、2-3分程度の短い挨拶や、スピーチをすることができる	■	■	■	▲	▲	▲	●
事前に用意した資料を用いて、他社の製品と比較しながら、自社の製品やサービスの品質・効率性・価格などを説明することができる	■	■	■	▲	▲	▲	●
プレゼンテーションやスピーチで議論されている内容について、質問をしたり、質問に答えたりすることができる	■	■	■	▲	▲	▲	●
来訪者と世界の出来事について話すことができる	■	■	■	▲	▲	▲	●
議論や会議の場で、自分の意見を述べる・力説することができる	■	■	■	▲	▲	●	●
事前に準備をした上で、新規プロジェクトや新製品に関する、20-30分のプレゼンテーションや、公式スピーチを行なうことができる	■	■	■	▲	▲	●	●
事業計画や方針について、新しい仲間や同僚に説明することができる	■	■	■	▲	▲	●	●
講義やプレゼンテーションの際、不明瞭な点や問題点について、その場で質問することができる	■	■	■	▲	▲	●	●
教師や同僚、友人、仲間等、聞き手の経歴や英語力に応じて、話し方を変えることができる	■	■	■	▲	▲	●	●
非公式の場面で、会話等の通訳をすることができる	■	■	■	▲	▲	●	●
上司や同僚と、顧客サービスや製品の質の向上について、話し合うことができる	■	■	▲	▲	▲	●	●
議論の場で、相手の意見に対して自分の意見を述べたり、反論したりすることができる	■	■	▲	▲	▲	●	●
不良品や不十分なサービスに対する苦情を処理することができる	■	■	▲	▲	▲	●	●
外国人の従業員に、会社の歴史や規則について説明することができる	■	■	▲	▲	▲	●	●
自分が行なった研究や調査に関し、結果を報告することができる	■	■	▲	▲	▲	●	●
自分がよく知っている仕事関連のプロセスについて、説明することができる	■	■	▲	▲	▲	●	●
その場に適した暗記したフレーズや表現を使って、質問をしたり、会話を行なったりすることができる	■	■	▲	▲	▲	●	●
自分の専門分野に関係する話題について、分かりやすく伝えることができる	■	■	▲	▲	▲	●	●
自分の会社または大学について（例：主要事業は何か、どんな履修コースがあるか）、資料を見ながら手短かに説明することができる	■	▲	▲	▲	▲	●	●
自分の学歴や現在の職務を、フォーマルな場面で説明することができる	■	▲	▲	▲	●	●	●
今起こっているトラブル（例：フライト・宿に関するトラブル）を係員に説明し、問題を解決するよう要求することができる	■	▲	▲	▲	●	●	●
自分の意見を、異なる意見を持つ相手に、説明することができる	■	▲	▲	▲	●	●	●
外国人の同僚や新人に、日常業務の手順を、口頭で教えることができる	■	▲	▲	▲	●	●	●
同僚や仲間に、使用方法を知っている機械や機器（例：コピー機、PC、オーディオプレーヤー）の操作の仕方を説明することができる	■	▲	▲	▲	●	●	●
将来のキャリア上の目標について話すことができる（例：来年自分が何をしようとしているか話すことができる）	■	▲	▲	●	●	●	●
社交の場で、適切な挨拶・自己紹介をすることができる	■	▲	▲	●	●	●	●
海外からの来訪者に、ちょっとした観光案内をすることができる	■	▲	▲	●	●	●	●
電話で、商品の注文や、注文状況の問い合わせをすることができる	■	▲	▲	●	●	●	●
来訪者と商談前に、天気等の一般的な話題について、世間話をするすることができる	■	▲	▲	●	●	●	●
航空会社などに電話して、飛行機の予約を変更することができる	■	▲	▲	●	●	●	●
電話で自分の名前・用件を告げ、担当者への取り次ぎを依頼することができる	■	▲	▲	●	●	●	●
留守番電話に、折り返し電話をもらえるよう、伝言を残すことができる	■	▲	▲	●	●	●	●
非公式の場面で、自分の趣味や故郷、興味のあることについて話すことができる	■	▲	▲	●	●	●	●
人と会う約束を取る/変更する/キャンセルすることができる	▲	▲	▲	●	●	●	●
レストランの営業時間を問い合わせたり、夕食の予約をしたりすることができる	▲	▲	▲	●	●	●	●
最寄り駅から、特定の目的地(オフィス等)までの道順を説明することができる	▲	▲	▲	●	●	●	●
メニューを見ながら、喫茶店やレストランで、料理を注文することができる	▲	▲	●	●	●	●	●
トイレの場所の説明等、来訪者の案内をすることができる	▲	▲	●	●	●	●	●

TOEIC Writing Can Doガイド

スコアレンジとCan Do項目	Writingスコアレンジ					
	～80	90～100	110～130	140～160	170～190	200
●「できる (Can Do)」						
▲「困難を伴うができる (Can Do with Difficulty)」						
■「できない (Cannot Do)」						
専門家による会議のプレゼンテーションで使用する、文章やスライドを作成することができる	■	■	■	▲	▲	●
プロジェクトの進行状況を説明する、数ページにわたる正式な報告書を書くことができる	■	■	■	▲	▲	●
新商品や新サービスを紹介する、プレスリリースを書くことができる	■	■	■	▲	▲	●
新しい業務プロセスや新商品、新サービスを提案する企画書を書くことができる	■	■	■	▲	▲	●
自分の仕事に関連する、計画書や提案書を書くことができる	■	■	■	▲	▲	●
上司または教師から割り当てられた、調査報告書を書くことができる	■	■	■	▲	▲	●
自分の専門分野内のよく知っている話題に関して、専門的な報告書を書くことができる	■	■	▲	▲	▲	●
商品やサービスのセールスマニュアルを作成することができる	■	■	▲	▲	▲	●
自分がよく知っている専門書に関して、1-2ページの要約を書くことができる	■	■	▲	▲	▲	●
顧客に対する、正式な礼状を書くことができる	■	■	▲	▲	▲	●
ビジネスレターやマニュアル等の書類を、英語に翻訳することができる	■	■	▲	▲	●	●
自分の専門分野に関連したグループ会議で話し合われた要点を、簡単なレポートやメモにまとめることができる	■	■	▲	▲	●	●
潜在顧客宛てに、自社の製品・サービスを説明する手紙を書くことができる	■	■	▲	▲	●	●
求人に応募するにあたり、自己紹介し、その仕事に自分が適任であることを説明する手紙を書くことができる	■	■	▲	▲	●	●
上司または教師宛てに、プロジェクトまたは課題の進行状況を説明する、メモを書くことができる	■	■	▲	▲	●	●
会議または授業中に内容をメモし、要点をまとめることができる	■	■	▲	▲	●	●
自分が作成した報告書内の、図や表で示された情報について、説明文を書くことができる	■	▲	▲	▲	●	●
公的機関に対し、必要な情報を得るために、Eメール・文書で問い合わせることができる	■	▲	▲	▲	●	●
ビジネスレターの返事を書くことができる	■	▲	▲	▲	●	●
同僚に、使用方法を知っているコピー機やPC等、オフィス機器の操作の仕方を説明する短いメモを書くことができる	■	▲	▲	▲	●	●
商品やサービスに対する、苦情のEメール・文書を、企業に対し書くことができる	■	■	▲	●	●	●
ある特定の商品や、サービスに関する情報を得るために、企業に対しEメール・文書で問い合わせることができる	■	▲	▲	●	●	●
上司または教師宛てに、この一週間で達成したことを説明するEメールを書くことができる	■	▲	▲	●	●	●
自分のオフィスへの道順を、分かりやすく書くことができる	■	▲	▲	●	●	●
業務または授業に関する確認のためのメモを書いたり、Eメールを送ったりすることができる	■	▲	▲	●	●	●
同僚または教師宛てに、会議または授業に出席できなかった理由を説明した、簡潔なメモを書くことができる	■	▲	▲	●	●	●
歓送迎会のご案内のEメールを書くことができる	■	▲	▲	●	●	●
仕事上の知り合い宛てに、プレゼントや食事に対する、短い礼状を書くことができる	■	▲	▲	●	●	●
ホテルの宿泊設備に関する情報を求める、Eメールを書くことができる	■	▲	▲	●	●	●

Ⅲ その他 関連情報

TOEIC S&W 受験目的別人数の割合

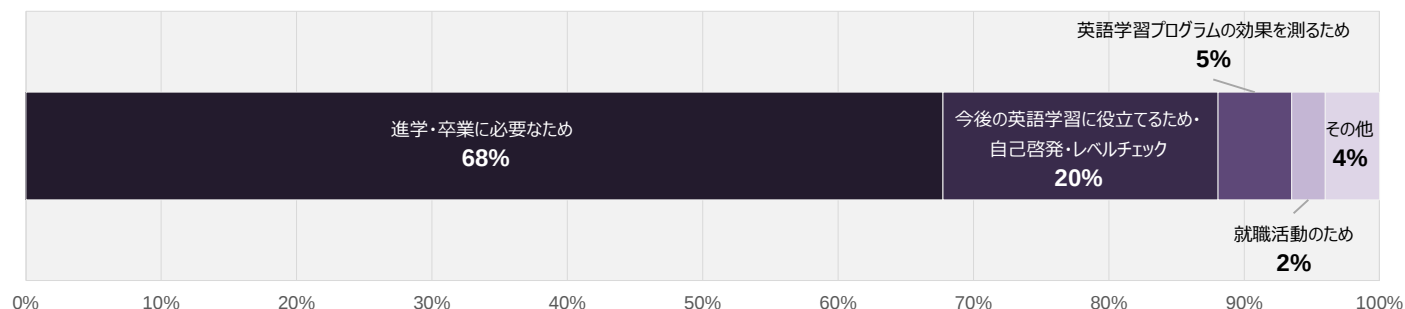
公開テスト受験申込時点の所属と受験目的に関するアンケート回答データを集計

2021年4月～2022年3月に実施された公開テストデータ

※実際の受験目的に最も近い選択肢を選ぶ択一式のアンケートです。なお、対象者の属性と関連性が低い受験目的については「その他」にまとめています。

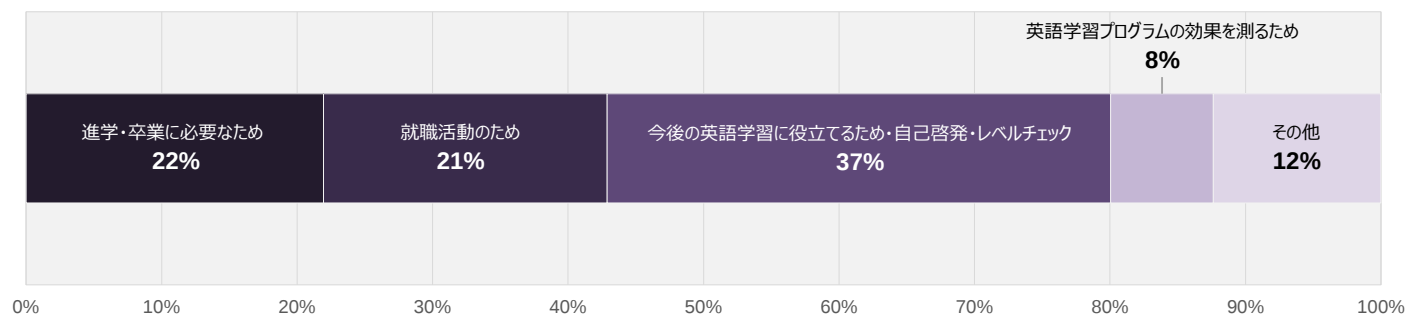
高校生・高専生

1,048 人



大学生・短大生・大学院生・専門学校生

4,155 人



社会人

7,116 人

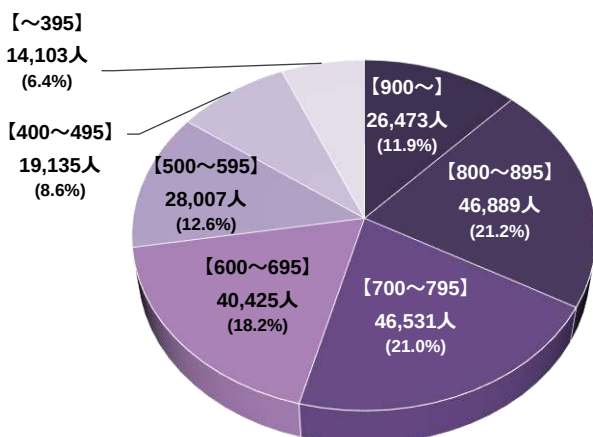


TOEIC S&W 受験者とTOEIC L&Rスコア

公開テストとIPテスト受験者に、直近で受験したTOEIC L&Rのスコア（範囲）をアンケート調査した結果を集計

公開テストは2007年1月～2022年3月まで、IPテストは2008年6月から2022年3月までの累計

TOEIC L&Rスコア別TOEIC S&W受験者数



TOEIC L&Rスコア別TOEIC S&W平均スコア

